

# 福島民報

2013(平成25)年  
5月22日  
水曜日

発行所  
福島民報社  
福島市太田町13-17  
(郵便番号960-8602)  
電話代表 (024) 531-4111  
編集局531-4122 広告局531-4153  
事業局531-4173 販売局531-4178  
購読のお申し込み  
☎0120-373437

安心・安全・快適

**キョウワグループ**

キョウワグループ本社 ☎03-5552-0911  
 北日本ソーン本部 ☎022-204-0911  
 東日本ソーン本部 ☎03-5552-0911  
 西日本ソーン本部 ☎06-6110-0911  
 事務センター ☎024-521-0911  
 道内支社 ☎011-207-0911  
 東北支社 ☎022-204-0911  
 北東北支社 ☎024-521-0911  
 東北支社 ☎024-521-0911  
 福島支社 ☎024-521-0911  
 北関東支社 ☎03-5552-0911  
 関東支社 ☎06-6110-0911  
 関西支社 ☎06-712-0911  
 西日本支社 ☎06-712-0911

## 福島市長選に小林氏浮上

### 環境省出向部長 退職後に出馬へ

十二月七日の任期満了に伴う福島市長選で、伊達市保原町出身で元環境省東北地方環境事務所長で独立行政法人環境再生保全機構石橋健康被害救済部長の小林香(かほ)氏(57)が二十一日までに立候補の意思を固めた。小林氏は一部福島市議に立候補の意向を伝えて協力を求めており、市内の商工関係者に推す動きがある。市長選には現職で三期目の瀬戸孝則氏(67)が既に立候補の意思を示しており、選挙戦が濃厚となった。

### 瀬戸氏との戦い濃厚

小林氏は市長選に向けて既に辞職の意向を固めており、所属する独立行政法人環境再生保全機構から環境省に復帰しないと感じた。環境省で培った経験を生かして、除染をはじめ復興を加速させたいと、福島民報社の取材に語っている。

小林氏は福島高、中央大学法学部、英国サセックス大修士課程修了。昭和六十三年に旧大蔵省に入省し、財務省を経て平成十四年から環境省、東北地方環境事務所長などを歴任し、二十三年七月から現職。

現在は東京都豊島区在住で、退職後に福島市内に拠点を移し、後援組織づくりなどを進めるつもりだ。

現職の瀬戸氏は一月に市内で開かれた会合で四選に向け立候補の意向を示している。前回の平成二十一年十一月の市長選では、自民、民主、公明、社民の四党から推薦を受け、共産党の候補者に大差をつけて三選を果たした。

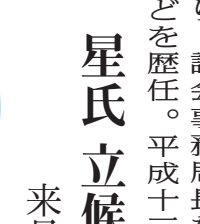


湯田雄二氏

### 湯田氏今期で引退へ

下郷町長選「町政継承考え判断」

湯田氏は福島民報社の取材に対して「町政の継承を考えながら慎重に判断したい」と話した。六月定例会議で態度を明らかにするとみられる。



星澄雄氏

### 星氏立候補の意思

来月にも正式表明

十一日までに、立候補の意思を固めたようだ。

福島民報社の取材に対し星氏は「現段階で立候補を模索する動きがある。」と語った。

身、会津工高卒。昭和四十年に町職員となり、二十九年、議事事務局長となり、県町村会会長を務めた。平成十三年、副町長に就任。平成二十三年七月の任期満了に伴う下郷町長選で初当選した。十九年から二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

# 健康産業に認定制度

**市場創造プランの骨子**

- 健康産業育成のため、適法性を国が認定する新制度を創設。参入企業の支援策も盛り込んだ新法をつくる
- 「次世代ヘルスケア産業協議会(仮称)」を設置し企業の相談に応じる。健診受診率を上げた健保を優遇
- 50万人規模の健康データを分析。介護用ロボットの安全基準策定
- 2020年に蓄電池の世界シェアで5割獲得
- 今秋をめどに「インフラ長寿命化基本計画」をつくる
- 外国人向けの長期滞在ビザ導入検討。コメの生産コストを4割削減

**市場創造 参入支援で新法**

安倍政権が六月にまとめる成長戦略で柱とする「戦略市場創造プラン」の原案が二二日判明した。簡易な健康診断などの健康産業を育てるため、事業が適法かどうかを国が認定する新制度を導入。消費者が利用しやすく、金融・税制面で新規参入を支援することも盛り込んだ新法をつくり、二〇一四年の通常国会に提出する方向だ。

(4面に関連記事)

国民の平均寿命が延びるのに伴い、リハビリ関連など健康サービスニーズは強まっている。ただ、ルールがあいまいで企業が参入しづらいため、国がお墨付きを与えて支援体制も明確にし、産業化を促す狙い。

他にも、グリーンエネルギー普及やインフラの長寿命化、観光農業の活性化策を掲げ、デフレ脱却のけん引役となる新産業を政策主導で拡大する方針。

成長戦略は市場創造プランと、雇用改革など



産業協議会(仮称)を設け、参入を目指す企業の相談にも応じる。企業などの健康保険組合が健診の受診率を上げた場合、財政面で優遇する仕組みを導入。国による健康データの分析を二〇年に五十万人規模まで拡大し、

どの「ニッポン産業再興プラン」「国際展開戦略」で構成し、政府が六月中旬に決定する「健康寿命延長産業と名付けた。サービスを提供するヘルスケア市場創造プランでは、安価な健診サービス

疾病予防に役立つ。介護用ロボットの活用化に向け、一三年度から安全基準策定などの五年計画を始める。

エネルギー関連で、二〇一二年に蓄電池の世界シェアで五割を獲得するとの目標を掲げた。国内の全ての新築住宅・建築物に、二〇一五年までに省エネ基準の適合を義務化する。老朽化した高速道路などを整備するため、

今年をめどに「インフラ長寿命化基本計画」を策定。観光活性化では、海外の富裕層を想定して半程度程度の長期滞在型ビザの導入を検討する。農業ではコメの生産コストを現状より四割削減し、国際競争力を高める。

滞り型ビザの導入を検討する。農業ではコメの生産コストを現状より四割削減し、国際競争力を高める。

な花を多くの人に見てもらうこと、第十回クマガイソウの里まつりとして公開している。

林の斜面に約一

「明日を変えたい方お電話を」

借金もうイヤ!

TEL.024-528-8802

オーガニック野菜料理

手づくり保存食

ヘルシースイーツ

天然酵母パン

カフェ・教室 開業

カラダにやさしいナチュラルフードで

## オーガニック料理

通信教育「ナチュラルフード講座」

食の安全や健康を考えるあなたに

人と環境にやさしい食材の選び方やおいしい料理方法が学べる通信講座。

お肉を使わないハンバーガー、生クリームを使わないホワイトソース etc...

バランスのとれたヘルシーな食事で、カラダの中からキレイになって、あなたも健康美人。

講座を修了すると当学院認定「ナチュラルフード・コーディネーター」の資格が取得できます。

詳しい講座の案内書を無料でお届けいたします。今すぐ右記まで!

平成二十三年七月の「只見(只見町)駅間」とが二十一日、分かつた。復旧には着工から四年以上かかる見通し。同社は単独での復旧費用の負担は困難と、関係者によると、六月にも正式に表明するとみられる。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

## JR東日本

### 只見線復旧費85億円

工期4年以上の見通し

只見線(只見町)駅間とが二十一日、分かつた。復旧には着工から四年以上かかる見通し。同社は単独での復旧費用の負担は困難と、関係者によると、六月にも正式に表明するとみられる。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

星氏以外にも水面下で立候補を模索する動きがある。

星氏は下郷町出身、田島高卒。昭和四十二年に町職員となり、総務課長などを務めた。平成十九年十月から副町長。

詳しい講座案内書を無料進呈

★資料請求は電話かハガキ・FAX(下記の係名を明記)またはインターネットからどうぞ。

151-8671 元代木町14-3 日本創芸学院 560-89係

TEL 03-3465-2012 FAX 0120-161-418

〒151-8671 東京都渋谷区元代木町14-3

日本創芸学院 560-89係

www.happy-semi.com/s/7888

今すぐ検索! ハッピーセミ